

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

1 日 時：令和7年10月10日(金) 14:00～15:30

2 場 所：障害者支援施設 丹頂の園 会議室

3 出席者：地域連携推進員

- ・地域関係者 年代 香 様 ・福祉知見者 金田 かおる 様
- ・行 政 岡崎 清美 様 ・利用者家族 1名
- ・利用者 1名

丹頂の園（事務局）

- ・施設長、総括、療護課長、総務課長、
法人施設管理課長補佐、相談係主任

4 会 議

(1) 開 会

①施設長あいさつ

- ・今年の4月より障害者支援施設・グループホームに地域連携推進会議の開催が義務付けられました。

地域との連携の必要性は感じていたところであり、当会議開催を良い機会と捉えています。

会議の目的は、ア) 利用者と地域との関係作り、イ) 地域への当施設の理解促進、ウ) 施設サービスの透明性と質の確保、エ) 利用者の権利擁護であります。

施設も地域の一員であることを意識しながら、地域の皆様と連携しあう関係づくりが大切であると考えています。

(2) 委員紹介・職員紹介

(3) 社会福祉法人 釧路丹頂協会のご紹介(スライドを使用し説明)

- 事務局：ア) 釧路丹頂協会の法人理念と施設概要 イ) 事業領域
ウ) 利用者の一日の流れと日常風景 エ) 年間行事
オ) 利用者懇談会実施の様子

委 員：こんなにたくさんのサークル(6種)を行っているとは知らなかった。
広報誌の「丹頂だより」もいつも楽しみにしています。

(4) 議長選出：地域連携推進会議規程により、年代委員に依頼

(5) 議 題

①苦情調整委員の活動について

事務局：ア)制度導入の経緯

ご利用者の人権擁護のため、第三者的立場の方にご利用者の苦情や要望に傾聴頂く目的で、平成15年4月から5名の方を苦情調整委員として委嘱しています。教育者や福祉分野に見識のある方で、ご利用者個々の障害特性をご理解頂き、様々な相談にご対応頂いております。

イ)活動状況

毎回苦情調整委員交代で、月に2回～3回、園内個室での相談会を実施頂いております。

対応が必要な事案は、対応した後、結果をお伝えしております。

また、年に2回、苦情調整委員と「苦情調整委員合同会議」を開催し情報共有を図っております。

ウ)苦情内容等について

コロナ禍の令和5年度では、苦情・要望・雑談ともに最多となった。職員には言いにくいことも委員の方には話しやすいというメリットがあります。

園内におきましても、相談課をはじめ、各職員が対応し、苦情や要望内容の概要をまとめ、その解決に努めております。

その他、園内には利用者意見箱を4ヶ所設置しております。また、利用者懇談会も再開したところであります。

②安全安心な生活に向けての取り組み(スライドを使用し説明)

事務局：ア) 防災対策

1. 災害時には、災害BCPに沿って各課が行動し、迅速な対応が適切に図られるよう体制を整えています。
2. 巨大地震や風水害の発生を想定したシミュレーション訓練・研修を毎年実施し、各課の行動や役割の確認、課題や問題点を抽出し、都度「災害BCP」の改善、更新を図っています。
3. 発電機作動訓練と消火訓練については、年2回実施しています。
4. 避難訓練は、日中を想定した避難訓練と、夜間を想定した避難訓練を毎年1回ずつ実施しています。
5. 建物や設備の点検です。業者による消防設備、非常照明、消火器、またボイラーや貯水槽などの定期的な点検を実施し、安全な環境維持に努めています。
6. 近隣の福祉施設様と非常時相互応援協定を結び、災害時に職員の派遣や食料・物資の提供等、協力し合うことになっています。
7. そのほか、当園においても、近隣での目撃情報が多く寄せられ、熊対策は必須となっています。

イ) 防犯対策

1. 正面玄関の自動ドアは24時間テンキー鍵で管理し、また、来園者には受付簿の記載と、ネームプレート着用のご協力や、防犯カメラを設置するなどにて不審者の侵入対策を図っています。
2. 正面玄関とセンター玄関に「さすまた」を2本ずつ配備するとともに、防犯マニュアルの確認や周知、実践訓練を定期的に行い、防犯対策への意識向上を図っています。夜間は、夜警員を委託し、定時の巡回や設備異常の確認・清掃などの業務に従事し、夜間帯での施設の安全とセキュリティを確保しています。

ウ) 感染症対策について

1. 「感染対策委員会」を設置し、2ヶ月に1回、会議を開催しています。また、クラスターが発生した際には感染症対策本部を立ち上げ、適時、緊急感染対策会議を開催、感染状況や利用者の容態、各課の役割や行動を確認し感染拡大防止、早期終息に向けて協議を重ねています。
2. 「感染症発生時における業務継続計画（BCP）」と感染対策マニュアルを作成し、感染症発生時でも業務を止めず、必要な業務が継続されるよう努めています。
3. 手洗い・消毒・マスク着用、出退勤時の検温の実施。また、各職員へは新型コロナの検査キットを配布し、症状があった場合に検査するとともに、不調時は出勤しないことを徹底しています。そのほか、年2回の感染対策研修と訓練を開催し、外部からの講師を招くなど標準予防策や個人防護服の正しい着脱方法、ノロウイルス発生時の嘔吐物処理方法等、感染BCPに則ったシミュレーション訓練などを実施し感染症予防に努めています。

委員：感染対策研修は外部講師を招聘して実施して研修されていることに感心した。

③その他

委員：娘が入所して2.5年位になる。先程の施設紹介で娘の写真が出ていたが、とても楽しそうな顔をしていた。

委員：安全安心の為の様々な取組みをしていることが解った。人間関係のトラブル等についても利用者の人権が守られるよう配慮されていると思う。

委員：様々な工夫をしながら、楽しい生活をされていると感じた。せっかく自然に囲まれた所にあるのに、野生動物によって自由に散歩等が出来ないのが残念だと思う。

議長：感染対策、野生動物(熊)、自然災害等について考えなくてはならない時代になった。近隣の施設は、丹頂の園との相互協定により、自然災害時の水・電気の確保等に安心できるようになったと喜んでいた。

(6) 閉会

(7) 施設内見学(15:00～15:30)

食堂・居室棟(旧棟・中央棟・新棟)・生活介護センターを順に見学